



【聖堂にたどり着くには長い石段を登らなければならない……】

マカオ観光の中心といえば、セナド広場から石畳の緩やかな坂道でつながるこの聖ポール天主堂跡一帯であろう。

ここにはこれまで数えきれないほど訪れている。

香港の発電所建設時代、中国珠海の発電所建設時代、そしてアジア地区サービス活動駐在時代である。

珠海発電所建設時代には家族 4 人でも訪れた。

でも、この日の訪問はこたえた。

6 月のマカオは既に夏の真最中だったのだ。

太陽は容赦なく照り付けこれを遮るものは何もなく、暑さはじわじわと体力を奪っていく。

遂には我慢の限界を越え、この写真を撮影し、早々に引き揚げた。

過去の記録を調べたら、14 年前の丁度この日にここに来ていたのだ。

この時の「今週の一枚」【注】があり、これに紐つく記憶のなかに、暑かったという覚えは皆無。

もちろん、体力の衰えは否めない。

だが、それ以上に——地球温暖化の波が、この地域にも確実に押し寄せていることを、身をもって実感した。

【注】 2011 年 6 月 11 日撮影「今週の一枚」

<http://www.otzkmst.sakura.ne.jp/ph/img/2011/20110611.pdf>